

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (29) 行政と連携した農家支援の取り組み
JA北さつま（鹿児島県）

新規	継続
	○
	(2017年3月)

1 動機(経緯)	これまでは農家が各機関に相談していたため計画の履行に時間を費やしていました。 本件が事業承継・補助事業の活用・認定農家の資格認定・法人化・資金相談と計画が多様であるため、畜産農家より地域振興局とJA畜産指導員に事業承継・規模拡大のための畜舎改修計画・法人化の相談があり、各機関の専門員を一同に招集した検討会を2017年3月より開催しています。
2 概要	メンバーは地域振興局（畜産担当・経営指導）・役場（補助事業担当・認定農業者担当）・担い手法人サポートセンター・JA（畜産技術員・融資担当）です。地域振興局が経営指導と計画作成、役場が補助事業と資格関連、JAが資金対応、担い手法人サポートセンターと地域振興局で法人化サポートと役割分担を明確化し現在計画遂行中です。計画の都度、農家と検討会メンバーで集まり今後の計画を決めております。
3 成果(効果)	各機関で役割分担を明確化した事により計画がスムーズに進行中です。 地域振興局・役場とこれまで以上の密接な連携体制がとれており情報共有や意識統一が図られています。 JAが公庫資金の窓口を一括しておこなう姿勢を示したことで、行政の方の資金に対する選択肢がJAに一本化されました。 本件以外の農家においても検討会を開催するようになりました。
4 今後の予定	本事例の様な取り組みは当JAの一部の地区でスタートした取り組みであり、今後はその他の地区の行政へアプローチを行い各関係機関との連携強化を図ってきます。